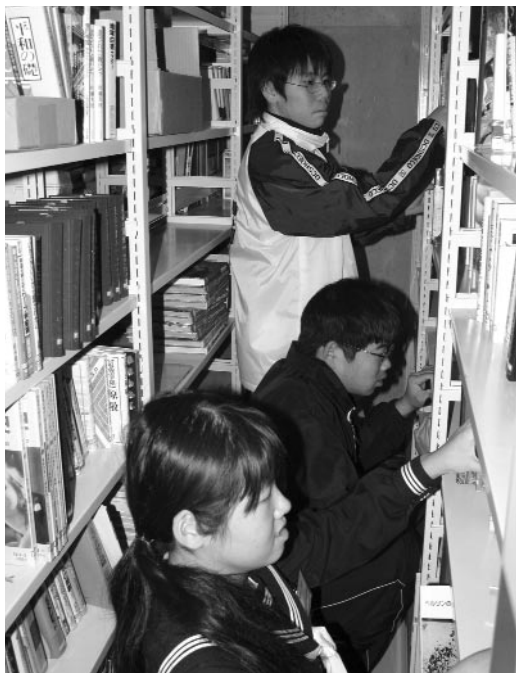


## 防災とボランティア講演会

1月20日大島文化センターで、防災とボランティア講演会が開催されました。阪神・淡路大震災で被災した兵庫県北淡町総務課副課長の富永登志也さんが、自らの体験をもとに災害の状況や対応を話しました。富永さんは大災害の時には地域のつながりや消防団の結束が大切であることや、ボランティアのありがたさを身を持って経験されています。

また、実践的防災教育のすすめと題して、山口大学地域共同研究開発センター助教授の瀧本浩一先生が、自主防災のための図上訓練について講演をしました。

## 中学生の職場体験



1月25日、安下庄中学校の生徒が、橘地区の事業所で職場体験をしました。役場業務の体験を希望した3人の生徒は、橘総合支所で統計調査の説明会に出席したあと、橘総合センターで行われた総合社会福祉大会を見学しました。

午後は図書館で書架の整理を手伝いました。狭い書庫の中で番号順に本を並べかえたり、一冊ずつチェックしたりと簡単でも根気のある作業を体験しました。



## 福祉のまちづくり

周防大島町社会福祉協議会主催による周防大島町総合社会福祉大会が1月25日、橘総合センターで開催されました。保健、医療、福祉に携わっている関係者が集まり、社会福祉に功績のあった方の表彰を行いました。

また、山口県立大学教授の高野和良先生が、生涯現役で広がる新たな福祉のまちづくりと題して講演をしました。

## 高規格救急車配備



1月21日、大島地域の一部、橘地域を管轄する東消防署中部出張所に高規格救急車が配備されました。この救急車は、救急救命士が搭乗し、医師の指示による気道確保等救命処置が行われるよう、高度救命用資器材等を備え付けています。また、サイレンを鳴らす時は徐々に音が大きくなり、止める時にも徐々に音が小さくなる機能が県内で2番目に採用されました。高規格救急車は今回で、東消防署管内すべてに配備が完了しました。

